

《 金 杉 地 区 町 会 連 合 会 》

日時：3月4日（金） 午後6時から（会 場：金杉区民館）

◇町会加入の促進について

質問	回答	対応
<p>町会内に新規オープンした店舗に、町会加入についての説明を行ったが、本部の方針で町会には加入もせず、迷惑をかけないので関わらないとの返事をもらいました。</p> <p>近年、増加傾向にある店舗に対して、加入を促す強制力のある条例はあるのでしょうか。</p>	<p>区では、「集合住宅の建築及び管理に関する条例」に「町会等への加入に関する協力」という内容を盛り込み、マンションを建築する事業者に対して、入居者の町会加入について町会と事前に協議をするよう依頼しています。また、転入者に対して町会加入のリーフレットを配布するなど加入促進に努めていますが、「町会員」は基本的に個人や世帯であるため、区から事業所等に対し町会への加入勧奨は難しいです。</p> <p>しかしながら、同じ地域で生活する個人や法人がつながりをもって活動することにより、地域が活性化するものだと思います。そこで、町会の活動を広く周知するため、皆さまから情報をいただき、現在、区公式ホームページに各町会を紹介するページの作成を行っています。</p> <p>区としては、町会活動の情報発信を行い、引き続き加入促進に努めてまいります。</p>	△

◇洪水時の水位表示について

質問	回答	対応
<p>近年、台風やゲリラ豪雨など気象の変化による激甚化傾向が増しており、台東区においても洪水に対するハザードマップが配布されているかと思えます。</p> <p>また、10月に配布された荒川氾濫時に各事務所前で想定される浸水の深さを表示したポスターが町会内で非常に好評でした。</p> <p>今後、私たち区民がより一層洪水時の避難意識を高めていくために、各事務所前だけでなく、日頃目に触れる形で浸水想定区域ごとにきめ細かく水位表示をしていただき、電柱などへ掲示をしてみたいかがでしょうか。</p>	<p>近年、各地で風水害による被害が発生しており、本区でも危惧しています。</p> <p>区では、風水害への防災意識を高めていくために、ハザードマップ、安全安心ハンドブックの配布など、様々な方法により啓発を行っているところです。</p> <p>各町会に配布した浸水の深さを表示したポスターについては、町会掲示板等に掲示していただいたことで、被害をより実感いただけたのではないかと思います。このポスターは、区の公式ホームページでも公開していますので、ぜひ地域等でご活用ください。ポスターを追加で必要な際は、担当の危機・災害対策課にご連絡ください。</p> <p>また、昨年10月には防災アプリ「台東防災」の機能強化を行い、地域の水害リスクを視覚的に確認できる機能を追加しましたので、こちらもご活用いただければと思います。</p> <p>ご提案の電柱への水位表示については、実施方法を含め、現在検討しています。</p> <p>引き続き、区民の皆さまがより身近な形で、避難意識の向上につながるような啓発を続けてまいります。</p>	<p>☆</p>

◇在宅医療の推進について

質問	回答	対応
<p>厚生労働省は、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるような医療や介護が連携した体制の構築を目指し、取り組みを進めてきていますが、未だ約8割が病院で亡くなっている状況です。</p> <p>上記体制を阻んでいるのは、自宅では難しいと考えている高齢者や家族の意識だと考えています。そこで、在宅医療の講習会や広報での積極的なPRをお願いしたいです。</p>	<p>区では、自力での通院が困難になっても、住み慣れた地域や家庭で自分らしい最期を迎えるため、在宅や施設での看取りをより一層強化していく目的で、区立台東病院の2階に「在宅療養支援窓口」を設置し、在宅療養生活に関する相談をお受けしています。</p> <p>また、区内の医師会・歯科医師会・薬剤師会、介護サービス事業者連絡会など、医療・介護関係団体で構成された「たいとう地域包括ケア推進協議会」が、在宅療養や看取りについての普及啓発講演会を開催しています。</p> <p>引き続き、たいとう地域包括ケア推進協議会と連携して、区民の方々へ在宅療養や看取りについて、広く周知してまいります。</p>	<p>○</p>